



若竹だよい

280



【巻頭言】

人生万事塞翁が馬

—若竹で起きたヤギの物語り—

園長 野田大燈



「園長!、ヤギがいなくなってる…」4月30日の日曜朝9時ごろ、ヤギに餌を与えに行った職員と園生は柵の中に居るはずのヤギがない事に気付きました。

園生と職員が周辺を捜しましたが行方知れずで途方に暮れてしまいました。その日の内に警察と保健所に遺失物届けを出しましたが、10日を経てもヤギの行方は杳として掴めませんでした。

若竹学園のヤギが行方不明になって探している、というニュースを聞いた友人僧侶の仲介で高知県と愛媛県から牝ヤギを各1頭ずつ頂けました。もう逃げられないように、と柵に鍵を取り付けました。21日の日曜日に「ヤギを預かってます」という電話がありました。行方不明になって約20日が経過してしまっていたので、何処かで死んでしまったのでは、と気落ちしてしまっていたので「生きている」という実感が湧きませんでした。

24日、指定された場所に行きますと、生まれ

ていた子ヤギ2頭と共に元気そうな母になったヤギが餌を食べていました。

保護して下さった方の説明では、30日夕方に五色台の麓を軽トラックで走行していると、急に左横から白いものが近づいてきて衝突しそうになり、とりあえず家に連れ帰ってくれ、既に出産間近かでしたので保護した2日後に牝ヤギ2頭を出産したそうです。

24日朝10時、指定された場所に軽トラックで迎えに行きました。出産間近かのヤギが居なくなっただけで高知と香川から1頭ずつ頂いて喜んでいましたと、居なくなったヤギが子ヤギ2頭を連れて帰って来たのです。

出産前のヤギが行方不明にならないければ、母ヤギと産まれた2頭のみですが、周囲の方の善意で2頭増えて5頭になりました。

中国に「人生万事塞翁が馬」という故事があります。ある日飼っていた馬が行方不明となり、近隣の方たちが慰めに来てくれました。主の老人が「いいえ、何が不幸か幸せかわかりませんよ」と言いました。しばらくすると飼っていた馬が野生の馬を4~5頭伴って帰って来ました。近隣の方が「よかったね」と言って来てくれました。老人は「何が幸いして何が災いになるかも知れません」と言いました。或る日、連れ帰った立派な荒馬に乗っていた息子が落馬して足を骨折しました。村人がお見舞いに来ました。老人はその時も同じ事を言いました。その後戦争が起きて、村の若者たちは戦場で討ち死にしてしまいい、残ったのは戦争に行けなかった老人の息子だけだったそうです。人生、何が幸いするか災いするか分からないのです。一了一

～ゴールデンウィーク特集～

第 1 弾潮干狩り



5 月 2 日坂出方面にバスを走らせ着いた場所はなんと海っ！！この時期の海といえば潮干狩りです。子どもたちは当日までどこに行くのかわからずドキドキ、ソワソワしていましたが朝の準備をしている段階のサンダルやスコップを見るなり勘のよい児は気付いたみたいでした。



海に到着するなりズボンや服の袖を捲り上げいざ貝狩りに出陣。なかなかお目当てのあさりが見つかりませんが見つけると周囲に知らせる大きな声が海に響き渡っていました。貝はあまり獲れませんでした。時間いっぱい潮干狩りを楽しみました。



貝がなかなか見つからなかったけど職員が見つけた貝をくれたので自分が見つけたような嬉しい気持ちになりました。 中学 2 年生 女児

第 2 弾公洲公園



5 月 5 日は雲もほとんどない快晴で公洲公園に行きました。子ども達は大きな広場でアスレチックゾーンで思いっきり体を動かしたり、カナヘビや昆虫を一生懸命探していました。



天気が晴れてよかった。不思議と落ち着くことができた。中学 3 年生 男児



第 3 弾野外炊飯

5 月 4 日あいにくの空模様でしたが子どもたちが山で採ってきたたけのこや潮干狩りの貝を使い野外炊飯を行いました。

メニューはこちら

- ・ツナと塩コンブの炊き込みご飯
- ・春キャベツとあさりのスープ
- ・カルツオーネ
- ・いわしの卵焼き

まずは皆でカルツオーネの生地作りをしました。耳たぶぐらいの生地の硬さを目指したのですが、なかなか生地が固まらず、職員に助けを求める児が続出でした。

生地作りが終わると女児は野菜の材料を切り、男児は釜の火おこしを担当することになったのですが火おこしに悪戦苦闘。火をつけるのが早かったためいざ料理を作り始めた頃には火が消えるというアクシデントもありました。それでもめげずに再度火をおこし美味しいご飯ができ子どもたちも嬉しそうに食べていました。



みんなで作って食べてとってもおいしかったです。 中学 1 年生 女児



青峰・若竹学級だより

1 学期中間テスト

5月15日(月)～16日(火)の2日間、中学生は5教科のテストを実施しました。小学生もこれに合わせてテストを実施しました。わからない問題にも粘り強く最後まで集中して取り組み、日ごろの勉強の成果を発揮できました。



毎朝の集会

毎日授業の始まる前に園庭で体操をした後、先生の話の聞いています。どの子どももきちんとした姿勢で、先生の目を見ながら話を聞くことができます。この日はクイズ形式での話で、真剣に考えながら話を聞き、わかったときには嬉しそうな表情を見せていました。



新体力テスト実施

新体力テストを実施しました。学園内には体育館や広い運動場がないため、香川県総合運動公園の多目的広場で50m走やソフトボール投げ・ハンドボール投げを、亀水運動公園の体育館でシャトルランや反復横跳びを



その他の種目は学園のホールで行いました。

どの子どもも昨年度の記録を超えようと全力で取り組んでいました。



自分の記録を更新したときには満足そうな笑顔が見られました。

小中合同授業

美術の授業を小・中合同で行いました。ルネサンスの学習をし、作品から受ける印象を聞いたときなかなか発表する人がいなかったのですが、最初に小学生が発表したのをきっかけに、中学生が次々と発表しました。学習に対する姿勢や雰囲気に関して、お互いに良い刺激になったようです。

遍路小屋にて

小学校の家庭科でお茶の入れ方を学習したのを生かして、学園の近くの遍路小屋でお遍路さんにお茶のお接待をしました。



授業で学習した成果を生かして美味しいお茶を入れることができました。お遍路さんから「ありがとう。」と声をかけられると、少し照れながら笑顔を見せていました。

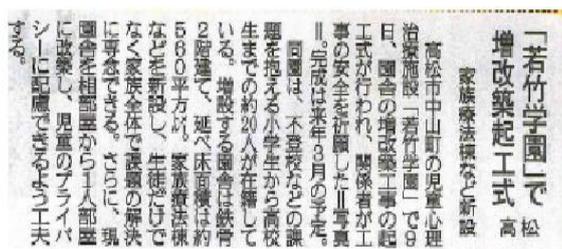
起工式

5月9日若竹学園増築及び大規模模様替え工事起工式が行われました。子ども達からは起工式ってなにをするの？といった声が多くありましたが起工式当日は皆真剣に式や神事を見守っていました。中学3年生に鉄入れの希望を聞くと積極的に「僕がします」と名乗り出てくれた見がいました。しっかりと鉄入れの役割りを全うしてくれました。

鉄入れの際に自分だけが鉄を入れ過ぎたと思いが焦りました。

中学3年生男児

～四国新聞に掲載されました～



増改築前に現在の建物の模型に加え、増築される建物部分も作ってくれました。材料は厚紙や画用紙でこのクオリティはさすがです！！毎日のように作業をしている成果が感じられます。

中学2年生男児



5月の行事



- 2日潮干狩り 18日買物学習
- 3日公洲公園 20日太鼓
- 4日野外炊飯

在籍人数 平成 29 年 5 月 25 日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男 子	小学生	3	0	3
	中学生	4	4	8
	その他	1	0	1
	計	8	4	12
女 子	小学生	0	0	0
	中学生	4	1	5
	その他	0	0	0
	計	4	1	5
合計		12	5	17

編集後記

いよいよ増改築の工事が着工しました。遊ぶ場所が狭くなりましたが子ども達も協力してくれており今から完成が待ち遠しいです。

保育士 田窪 識

第 280 発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp/>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈